

バリウムによる胃がん検診を受ける場合の注意事項

胃がん検診を安全に実施するため、次の項目に該当する方は、**検診を受けることができません**

1

バリウム過敏症の方

過去にバリウムにより体調不良を起こしたことがある

2

次の病気で過去に治療を受けたことがある方

消化管の穿孔（穴が開いた）
 腸閉塞
 腸捻転
 大腸憩室炎の治療中（よくなつていれば検査可能）
 胃を全摘
 開腹手術3回以上

3

胃や十二指腸及び小腸・大腸の病気で治療中の方

4

1年以内に手術した方
(腹腔鏡手術を含む)

腹部
 心臓病
 呼吸器疾患
 頭部
 椎体・関節などの運動器

※2ヶ月以内に大腸内視鏡手術した方を含む

5

重篤な病気または体調不良を起こす恐れがある方

1年以内の発作（脳血管疾患、虚血性心疾患、不整脈、てんかん）
 脳圧亢進でシャント中
 大動脈瘤（治療中または未治療の方）
 メニエール病（治療中または自覚症状がある）

6

透析中、心不全、慢性腎疾患で水分制限がある方

7

呼吸困難や肺炎をおこす恐れがある方

過去にバリウムが気管に入ったことがある
 普段からむせやすい方
 喘息発作がある

8

体重が100kg以上の方（機械の安全性を考慮）

9

妊娠中または妊娠していると思われる方

※ 胃を切除している方は内視鏡検査（胃カメラ）が望ましいです。

胃がん検診前日・当日の注意



前日の夕食は、検査受付の10時間前までに。

就寝までの飲水制限はありませんが、飲酒はお控えください。



当日の朝食は食べないでください

朝ご飯を食べていたら検診が受けられなくなります。



検診の2時間前までなら飲水可能

服薬や熱中症予防のため、コップ1杯程度の飲水であれば差支えありません。



服薬

- ◆ 糖尿病薬（血糖降下剤・インスリン）は、
絶対に服用しないで下さい！
(低血糖発作の恐れがあります)
- ◆ その他の常用薬（血圧・不整脈・心臓病など）は起床後
早めに服用してください。

※次の方は検診当日の体調などにより検査できません※

- ◆ 糖尿病で検査前に経口血糖降下剤を服用 又は インスリンを使用
- ◆ 3日間排便がない 又は ひどい便秘
(バリウムが腸内に停滞し、固まってしまうことが予想されます)
- ◆ 検診時、計測した血圧が高い